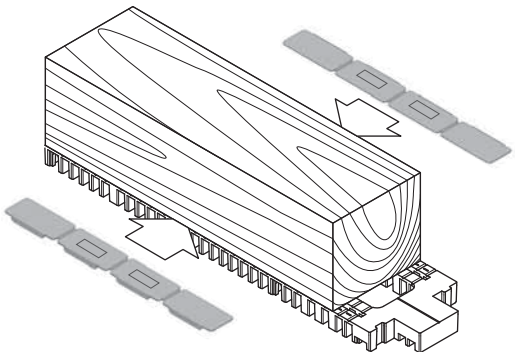
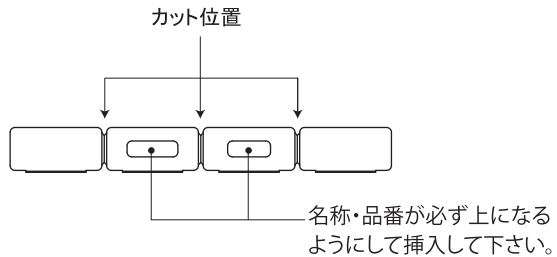


7. 調整板の取付け方法

- ・エコパッキン長尺用の調整板は両側から挿入するタイプです。
- ・調整板は 1mm と 3mm の厚みがあります。
- ・調整板は必ず土台とエコパッキン長尺の間に挿入して下さい。
- ・隙間の大きいところは 2 枚合わせで使用してください。
- ・2 枚合わせで使用する際はあらかじめ重ねてから挿入して下さい。
- ・調整板は 4 分割できるようになっております。隙間の状況に合わせてカットして御使用下さい。

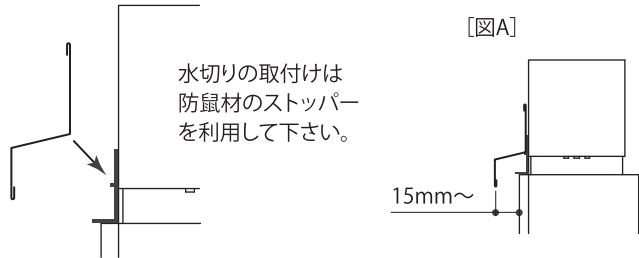


土台外周部で使用する際はセット後、軸組工法は土台から枠組工法は構造用合板からはみ出ないように注意して下さい。



8. 防鼠材・水切りの施工について

- ・エコパッキン長尺には防鼠効果がありますので、防鼠材は使用しないで下さい。
- ・水切り・防鼠付き水切りは軸組工法の場合は土台の外面に、枠組工法の場合は構造用合板の外側に取付けて下さい。
- ・水切りは 455mm ピッチ以内を目安にステンレス釘で取り付けて下さい。
- ・水切りを取付ける際は換気スリットを最低 15mm 確保して下さい。(図 A 参照)
- ・延焼の恐れがあり防火対策が必要な場合は、必ず金属製の水切りや防鼠付水切りを使用して下さい。



施工後の確認事項

施工後は以下の項目を確認して下さい。

土台からエコパッキン長尺がはみ出していない。	YES	NO
エコパッキン長尺が隙間無く設置されている。	YES	NO
防鼠材は使用していない。	YES	NO
水切りは釘打ちピッチが 4 5 5 mm 以内になっている。	YES	NO



本 社 工 場 〒538-0041 大阪府大阪市鶴見区今津北4丁目10番1号
TEL(06)6968-2921 FAX(06)6968-2926
東京営業所 〒130-0005 東京都墨田区東駒形2丁目13番10号ルミエール逆井101号
TEL(03)5608-5471 FAX(03)5608-5473

ISO9001:2015 認証取得 / ISO14001:2015 認証取得
本社・本社工場 / <https://www.kitai-mfg.co.jp>



株式会社キタイ製作所

製造元

KS008-25D-D
●製品の改良のため、事前の予告なしに仕様・外観の変更を行うことがあります。

エコパッキン長尺 施工説明書

EPL-102SP・EPL-120・EPL-150

この度は「エコパッキン長尺」をお買い上げいただきありがとうございます。「エコパッキン長尺」の施工にあたっては、本施工説明書の内容をよくお読みの上、正しく施工を行って下さい。ここに記載のない事項につきましては、建築基準法及び住宅金融支援機構監修の木造又は枠組壁工法住宅工事仕様書((財)住宅金融普及協力発行)と同等以上の共通仕様書に従って下さい。その他、定めのない施工方法については、構造計算などで十分に安全を確認して下さい。

1. 製品仕様

材質:再生ポリプロピレン複合樹脂
※アンダーバーの入った寸法は共通寸法
※単位:mm

EPL-102SP

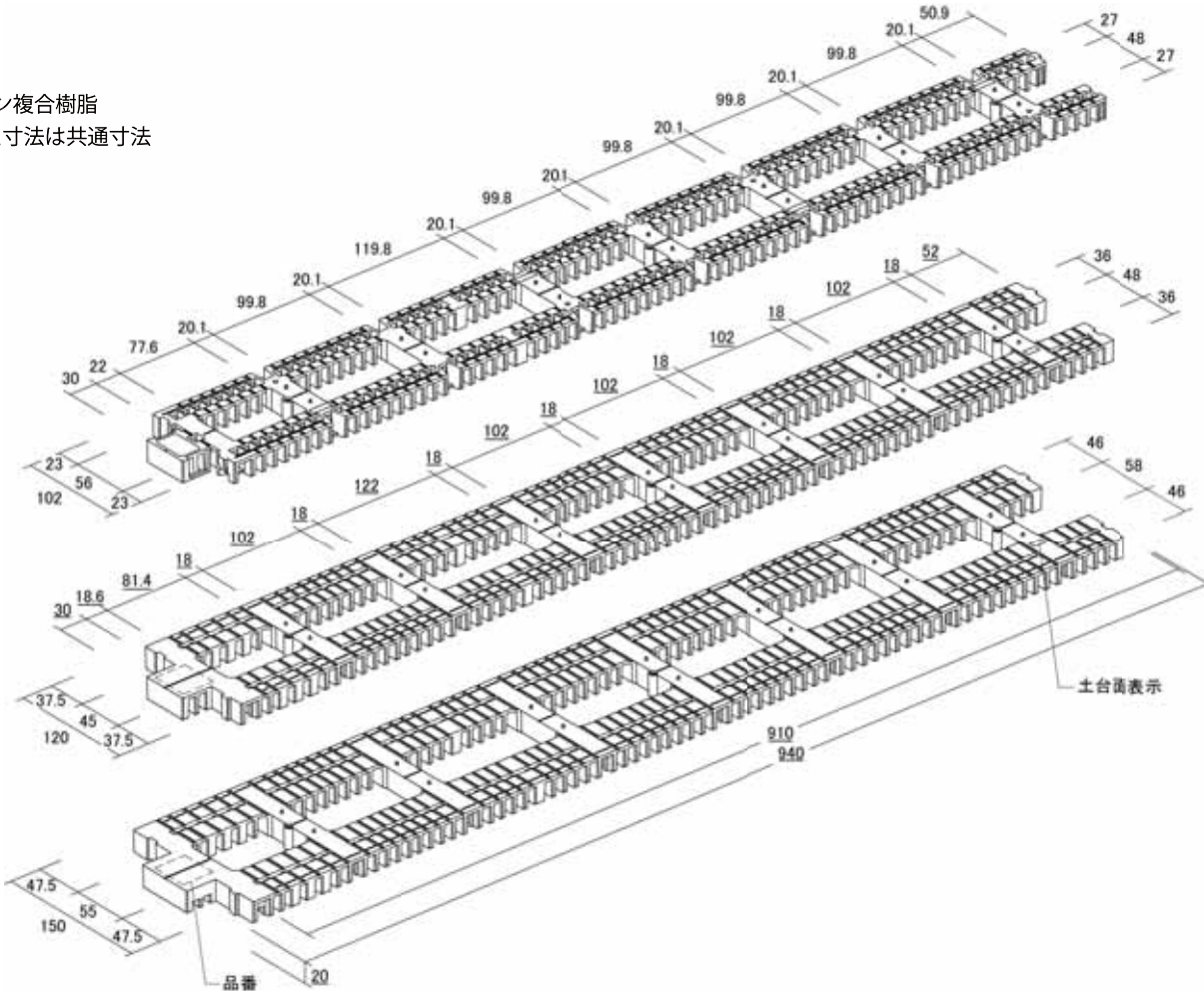
通気面積 約79.5cm²/本
(平均337.3cm²/4m)

EPL-120

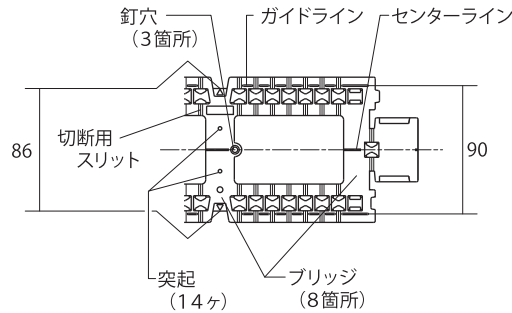
通気面積 約74.4cm²/本
(平均319.0cm²/4m)

EPL-150

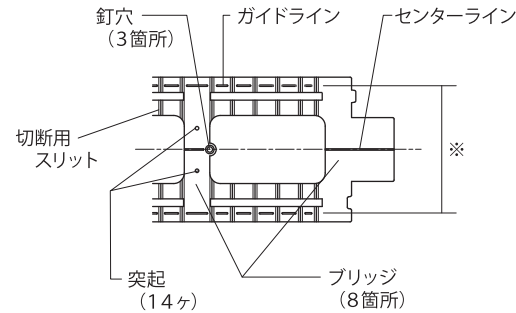
通気面積 約74.4cm²/本
(平均319.0cm²/4m)



EPL-102SP



EPL-120・150



※部の寸法は、EPL-120は108、-150は138となります。

2. 設計上の注意

- ・エコパッキン長尺は必ず基礎と土台の間に入れて下さい。
- ・エコパッキン長尺を鉄骨造には使用しないで下さい。
- ・エコパッキン長尺は防鼠機能を兼ね備えていますので、防鼠材は使用しないで下さい。
- ・防腐・防蟻処理は建築基準法や住宅金融支援機構監修の木造又は桝組壁工法住宅工事仕様書（（財）住宅金融普及協力発行）と同等以上の共通仕様書に準じて必ず行して下さい。
- ・アカマツ、クロマツ、ペイマツ及び広葉樹などのめり込み基準強度 Fcv が 8.1N/ mm²を超える土台を使用する場合は構造確認を行って下さい。
- ・エコパッキン長尺の土台に対する使い分けは[表 1]を参考にして下さい。
- ・エコパッキン長尺は隙間無く設置した場合、住宅金融支援機構監修の木造又は桝組壁工法住宅工事仕様書（（財）住宅金融普及協力発行）と同等以上の共通仕様書に規定された開口面積 300 cm²/4m を確保する事が可能ですので、通気孔を塞がないように注意して下さい。
- ・本説明書は平屋及び 2 階建ての住宅を想定して作成しています。3 階建ての住宅に使用する場合は構造計算を行い、軸力等を考慮して安全性を確認した上で使用して下さい。

[表 1]

型式	軸組工法				桝組工法	
	105角	120角	135角	150角	404材 (204)	406材 (206)
EPL-102SP	○	×	×	×	○	×
EPL-120	○	○	×	×	○	×
EPL-150	×	×	○	○	×	○

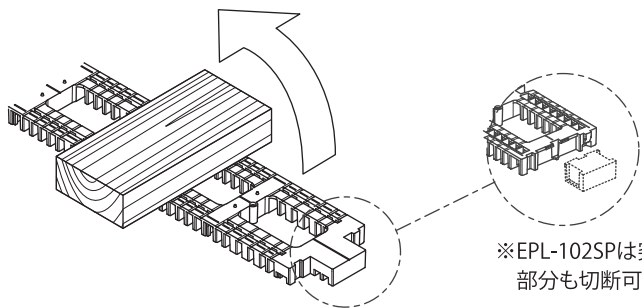
3. 施工上の注意

- ・エコパッキン長尺は、突起がある面（土台面と記載）を上にして設置して下さい。
- ・ひび割れ等があるものは使用しないで下さい。
- ・エコパッキン長尺は位置ズレ防止の為、釘または接着剤で基礎あるいは土台に固定して下さい。
- ・アンカーボルトが土台の芯から外れて打設されてる場合には、エコパッキン長尺の長孔を利用して適切な位置にくるように調整して下さい。
- ・エコパッキン長尺は施工後、直射日光が当たらないようにして下さい。
- ・エコパッキン長尺と土台との間に隙間が生じる場合は、別売りの専用調整板を使用して下さい。
- ・施工終了後、「施工後の確認事項」に従って御確認下さい。

4. 施工方法

- ・エコパッキン長尺は土台芯合わせとし、突起のある面を土台側として基礎全面に設置して下さい。
- ・エコパッキン長尺は設置時のホールダウン・アンカーボルトの位置調整に際しては、両サイドのスライド機構を用いての調整、エコパッキン長尺自体の 180 度回転による調整を行ってください。
※設置距離が 910mm 以下の場合においては、上面切断用スリットを用いて切断して調整して下さい。
- ・水切り設置時は水平になるように間隔 455mm 以内でステンレス製の釘またはビスで取り付けて下さい。
- ・延焼の恐れがある場合は、必ず金属製の水切りを使用して下さい。
※金属製の水切りは端面等で手を切る恐れがありますので、取り扱いには十分ご注意ください。

■スリットによる調整



※EPL-102SPは突起部分も切断可能です。

1. 切断位置を天面の切断用スリットを目安に決めて下さい。
2. 次に切断位置に当て木をして下さい。
※目安にしているスリットが当て木で隠れたり、ずれたりしないように注意して下さい。
3. 矢印の方向にエコパッキン長尺を曲げるようにして切断して下さい。
※当て木がずれないように押さえつけて下さい。
4. 切断後の設置は隣接しているエコパッキン長尺との隙間が出来ないように注意して下さい。
※切断加工の際に切断位置と違う箇所にヒビ等があるものは使用しないで下さい。

※切断したものを使用する際は、必ず 2 つ以上のブリッジで構成されているものを使用して下さい。

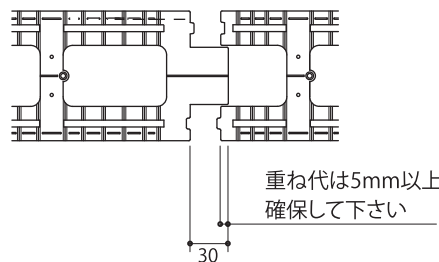


※左右非対称のものは使用しないで下さい。

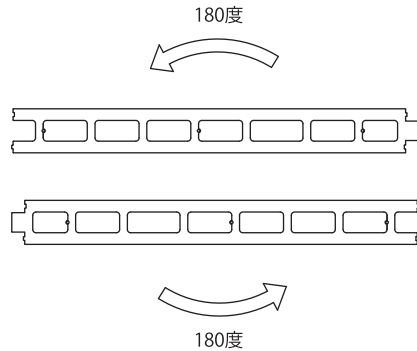


※切断の際には、金槌等を使用しないで下さい。
但し、電動ノコギリ等で正確にカットしたものは使用頂けます。
※不必要な衝撃を加えないで下さい。

■スライド機構による調整

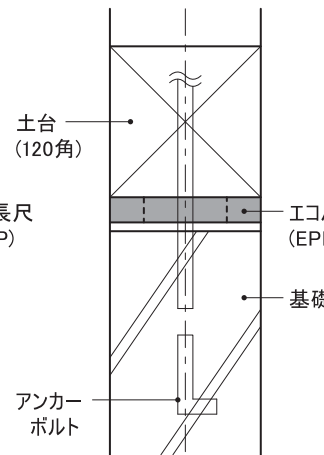
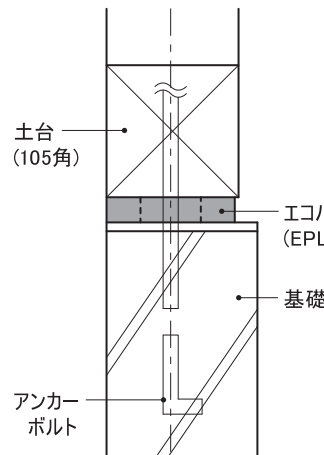


■回転(180度)による調整

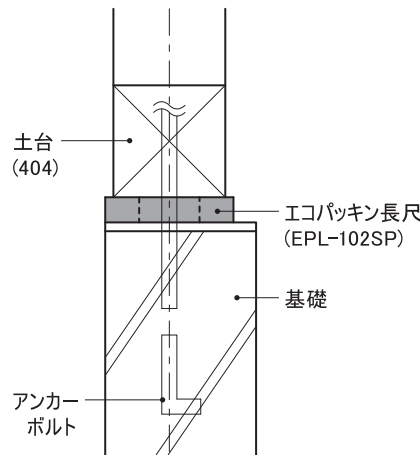


5. 製品納まり図

■軸組工法



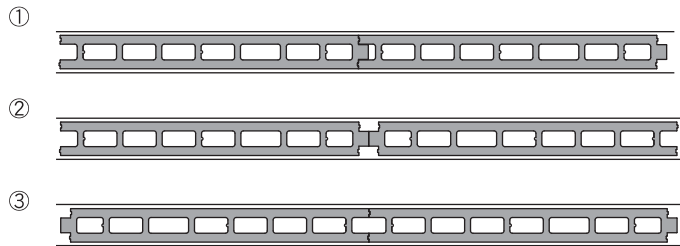
■桝組工法



6. 設置例

エコパッキン長尺の設置は下記を参考にして下さい。

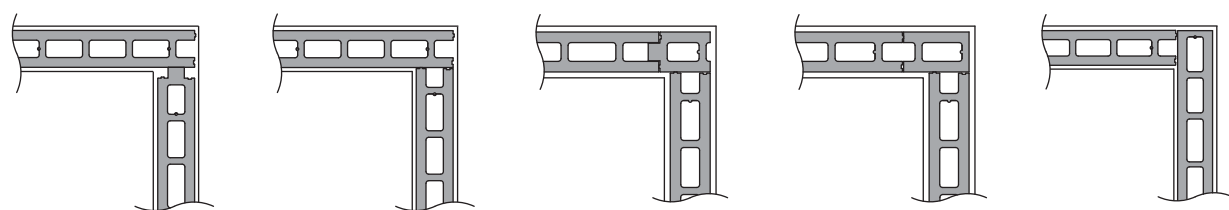
■直線部の設置



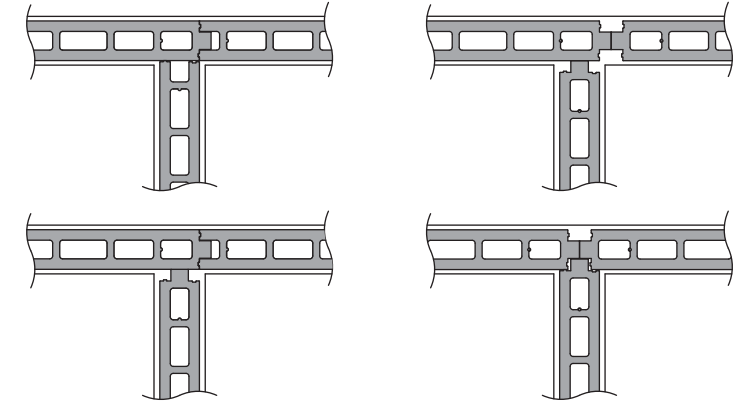
直線部は①②③のいずれかで設置が可能です。但し下記の内容を確認して設置して下さい。

- a : ②で設置する場合は設置時のズレに注意して下さい。
- b : アンカーボルトに対する位置調整については、①②③のように配列の調整をする事でアンカーホルルのピッチを変更できます。また、スライド機構による調整、スリットによる調整でも対処可能です。（4. 施工方法を参照）

■L 字部の設置例



■T 字部の設置例



直線部・L字部・T字部・十字部いずれの場合にも設置時には、隣接しているエコパッキン長尺の間に隙間が出来ないように注意して下さい。

■十字部の設置例

